

コガネグモ *Argiope amoena* L. Koch

【選定理由】

草本類の間に円網を張る。全国的に見ても最も普通なクモであったが、近年、都会を中心に減少傾向にある。生息環境の草原の減少が主な要因である。現在でも、生息場所によっては個体数の多いところもあるが、今のうちに歯止めをかける必要があり準絶滅危惧と評価された。

【形態】

体長雌 20～25mm、雄 5～6mm。腹部の黒と黄色の横縞が特徴である。



常滑市常滑字菅場, 2008年6月28日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

県内に広く分布する。良好な環境があれば多産するが、都会では急速に減少している。国内では、本州、四国、九州、南西諸島に分布する(新海ほか, 2018)。

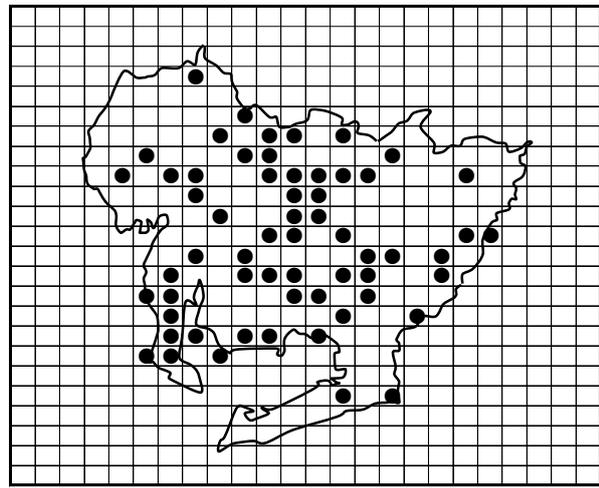
【生息地の環境／生態的特性】

草本類の間に垂直円網を張り、X字状の糸(かくれ帯)を付け、その中央に止まる。一般に、日当たりのよいところに多い。網の近くに不規則に糸を引き、淡緑色の卵のうを吊す。

【現在の生息状況／減少の要因】

生息できる環境の減少が主な要因である。現在でも、多産する場所もあるが、ほとんどの生息地では個体数が減少している。

県内分布図



【保全上の留意点】

草地を残すなどの配慮が必要である。農薬・除草剤の使用は、クモおよびクモの餌となる小動物生息のために極力避けたい。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.79,213. 偕成社, 東京.  
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.113. 保育社, 大阪.  
新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.212. 文一総合出版, 東京.  
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.425,622. 東海大学出版会, 神奈川.  
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.146,501-502. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)